

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出が可能な利用者も多いが、他社受診や職員の人員の都合で、地域交流が限られた物となっている。今後、地域交流を深めるため、積極的な外出支援に取り組んでいきたい。	① 月1回は車で外出する機会を持つ。 ② 一人、週2・3回は外気に触れる時間を作る。 ③ 計画的にケアプランに沿った、余暇支援の実践が出来る。	① リハビリ、受診送迎時、午後の時間は利用してスタッフに同行したり、買い物に誘う。② 散歩は午前限定せず、午後、夕方の時間も有効に使い、散歩に出かける。③ モニタリング実施時に、現状把握に努め、実践の振り返りをして、その後のケアを確実に繋げる。	6ヶ月
2	19	家族の面会はあるが、入居が長期化するにつれ、要望を尋ねても、特に要望がなく、このままで良いと言われるので、家族と職員の協働という意味では関わりが少なく感じる。	① 面会時、家族と意見交換が出来る。 ② 家族の参加出来る企画を行い、家族の参加が増える。 ③ 面会が増える。	① 家族に定期的に便りと手紙を送り近況報告を継続する。② 面会時、家族に近況報告する際には誤解を招かないように、問題点(課題)と共に、対策について報告し、安心していただく。③ 足を止めて笑顔で挨拶、足を止めてお見送り。職員の印象が施設の印象につながる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。